



絵・文案

いしいつとむ



わたしたちは
ほとけのこどもを
そだてます

浄行寺保育所
[昭和27年6月15日～昭和33年3月]

下瀬野保育所
[昭和33年4月～平成12年5月]

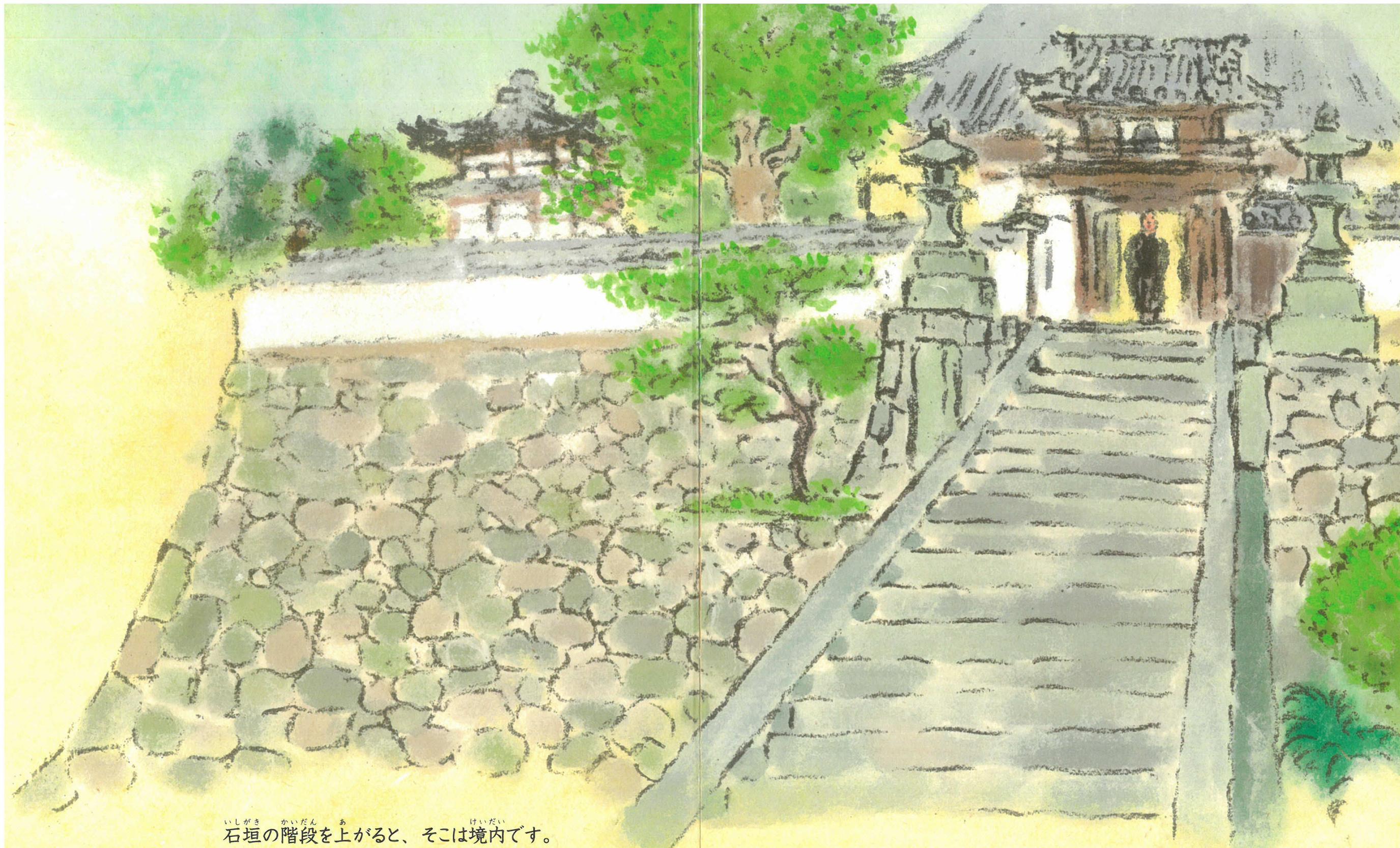
のんの保育園
[平成12年5月15日設立]

のんの・みどり坂保育園
[平成17年10月1日設立]

やま
山ふところにいだかれて淨行寺があります。
てら
お寺の石垣はお寺をささえ、
しもせの
下瀬野をみつめてきました。



ほいくえん
“のんの保育園”
ざかほいくえん
“のんの・みどり坂保育園” の歩みは
いしがき
そんな石垣のうえから
はじめました。



いしがき かいだん あ けいだい
石垣の階段を上ると、そこは境内です。

あきのぶせんせい じょうぎょう じ ぼう
秋宣先生は淨行寺をまもるお坊さんです。



あきのぶせんせい
秋宣先生のもとに、幸子先生が
よめ
お嫁にきたのは
せんご
戦後まもない、
おだやかな秋の日のことでした。
ご門徒さんも盛大にお迎えしました。

そのころ、

子どもたちの数がふえはじめました。

お寺はご門徒さんたちの

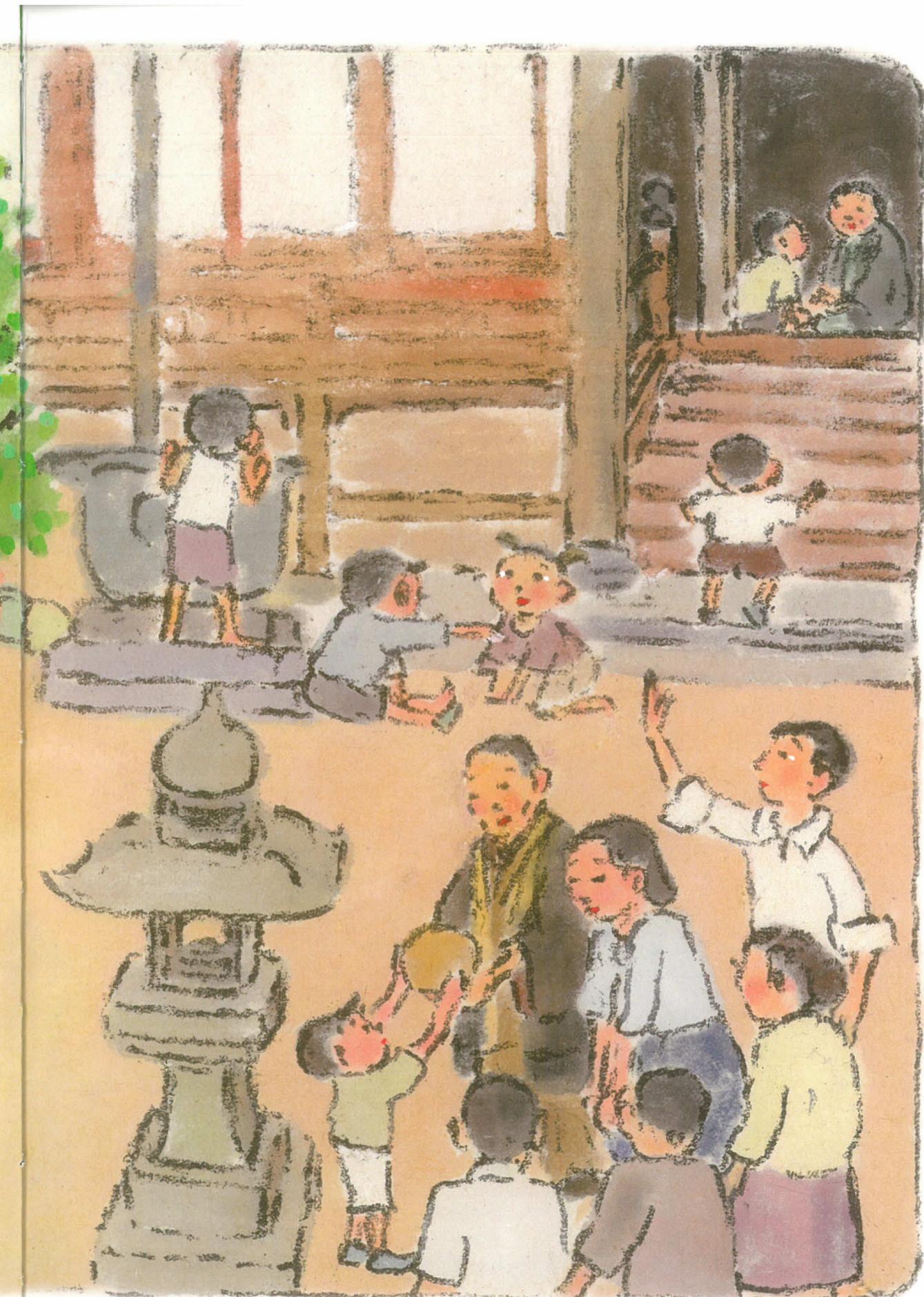
心のよりどころでした。

ひとびと
人々は、

ここで子どもたちが一日

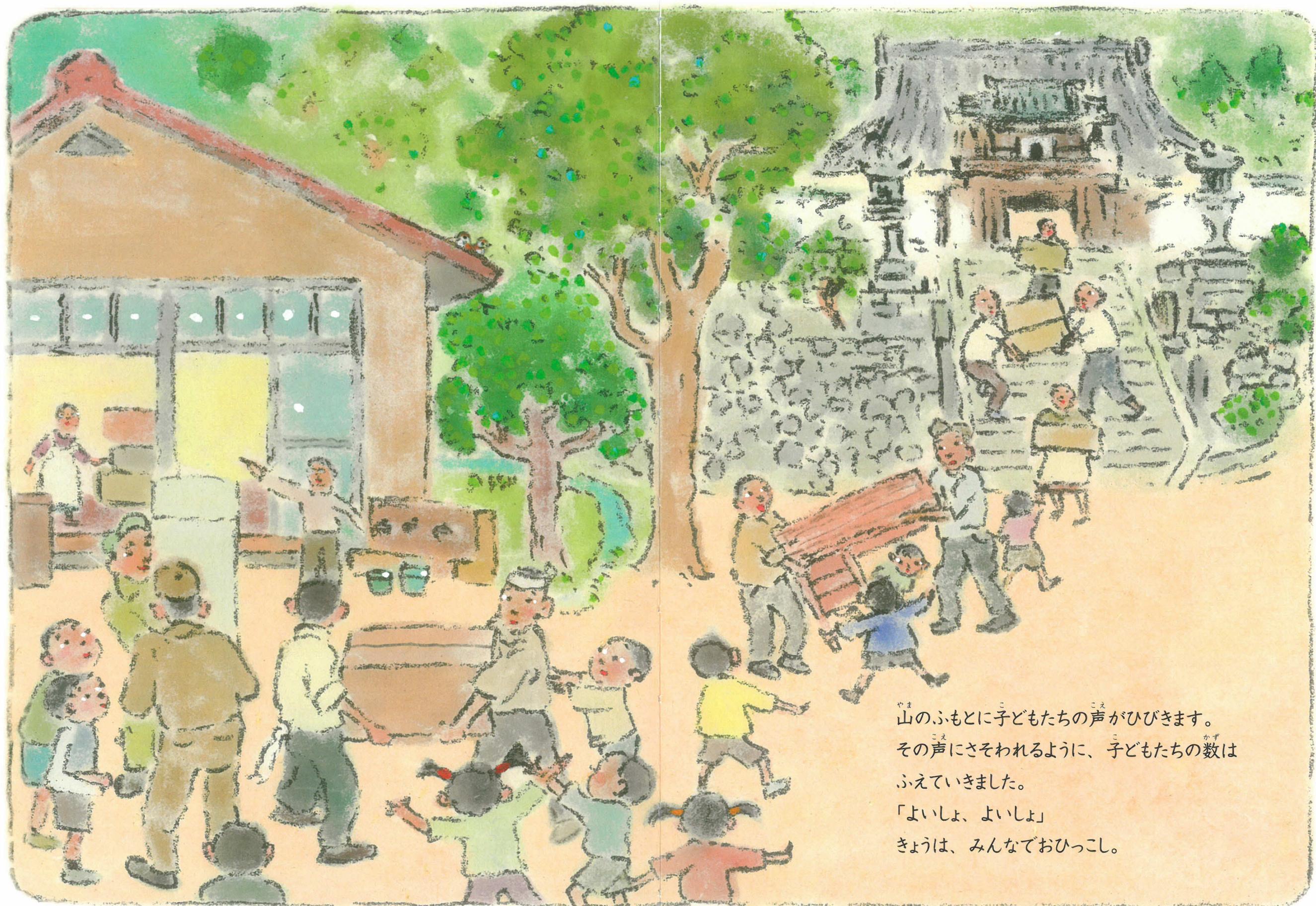
安心して過ごすことができれば、

と願うようになりました。



ほんどうから、子どもたち60人の元気な声が聞こえます。
おばあちゃん先生も子どもたちと手をあわせます。
「なもあみだぶつ、なもあみだぶつ」
「のんのさま、どうぞ見守ってください。」と
ねが願っていました。





やま
山のふもとに子どもたちの声がひびきます。
その声にさそわれるようすに、子どもたちの数は
ふえていきました。
「よいしょ、よいしょ」
きょうは、みんなでおひっこし。

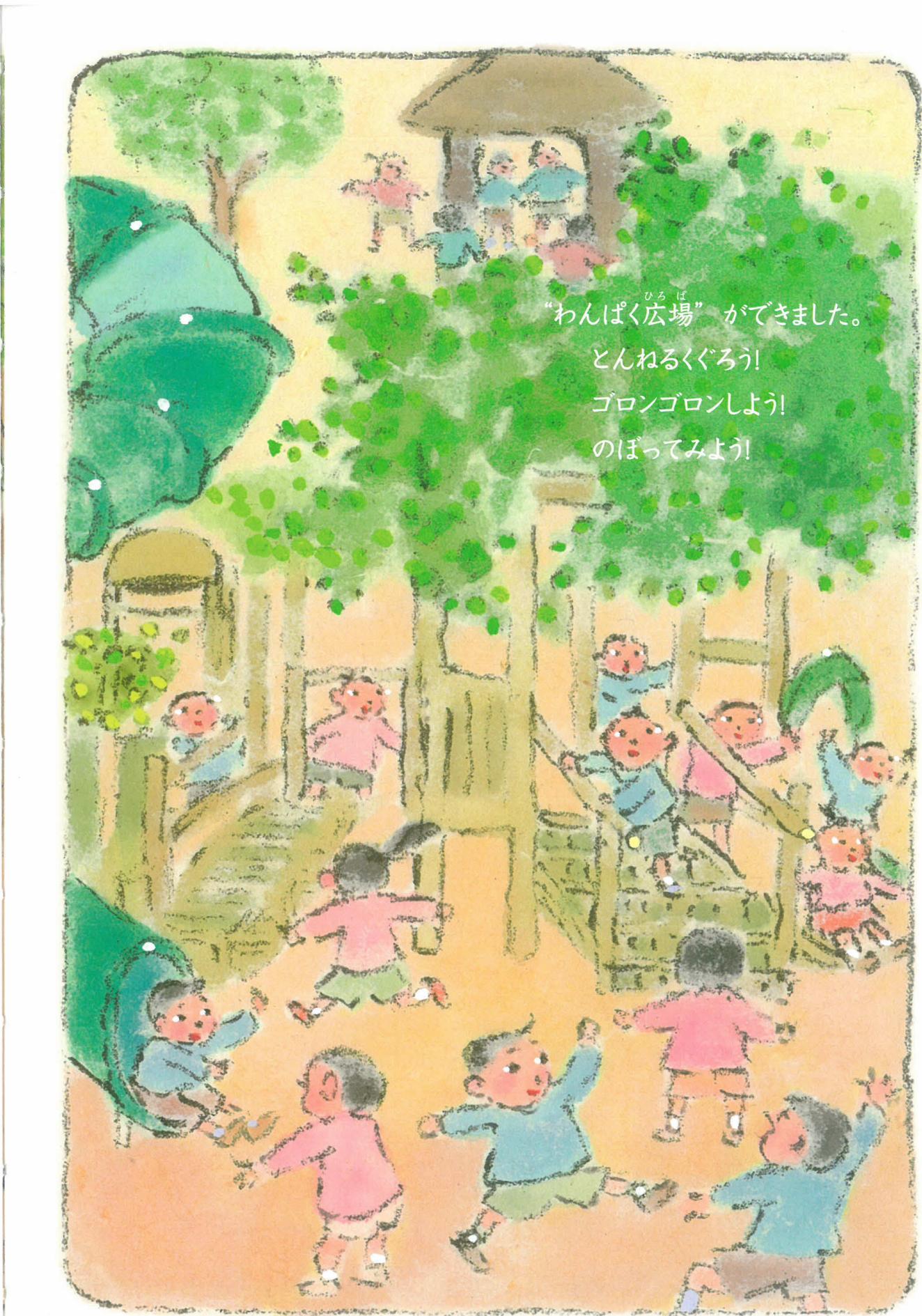
いくつもの季節がすぎていきました。

たくさんの子どもたちが巣立っていきました。

園舎も大きく、きれいになりました。

夢は、ゆっくりと大きく広がっていきます。





もうひとつの保育園 “のんの・みどり坂保育園” が
高台にできました。
小学校にかようおにいさん、おねえさんの歌声も
聞こえてきます。



かぜ
風は、ふもとの“のんの保育園”からも、
こえ
子どもたちの声をはこんできます。
ふたつの園の子どもたちの声は
たに ひび
谷に響きあうのでした。

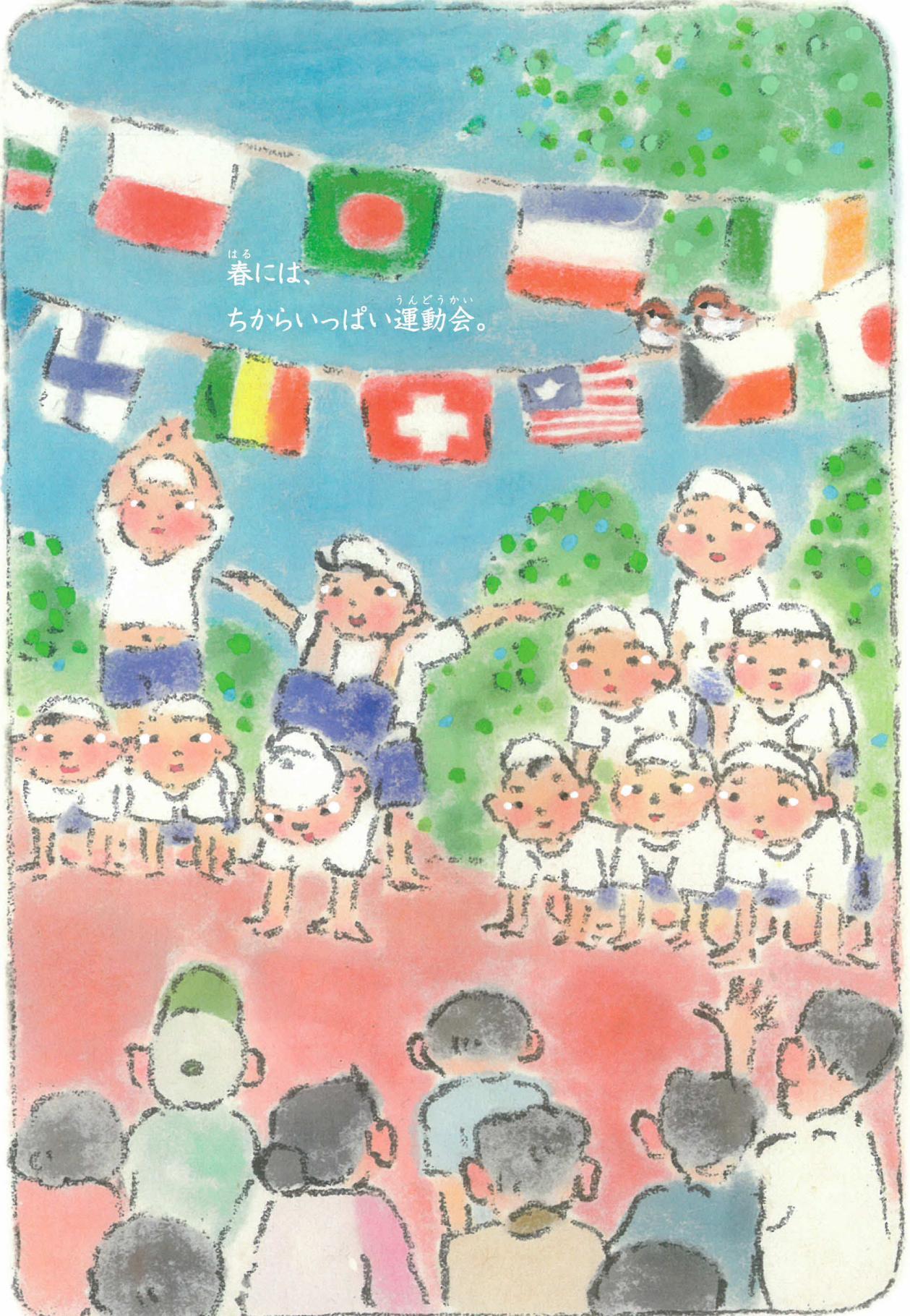


コトコトコト、コトコトコト、スカイレールにのって
“のんの・みどり坂保育園”のおともだちが
やってきます。

あきのぶ ゆき こせんせい
秋宣、幸子先生は
笑顔でおでむかえ。

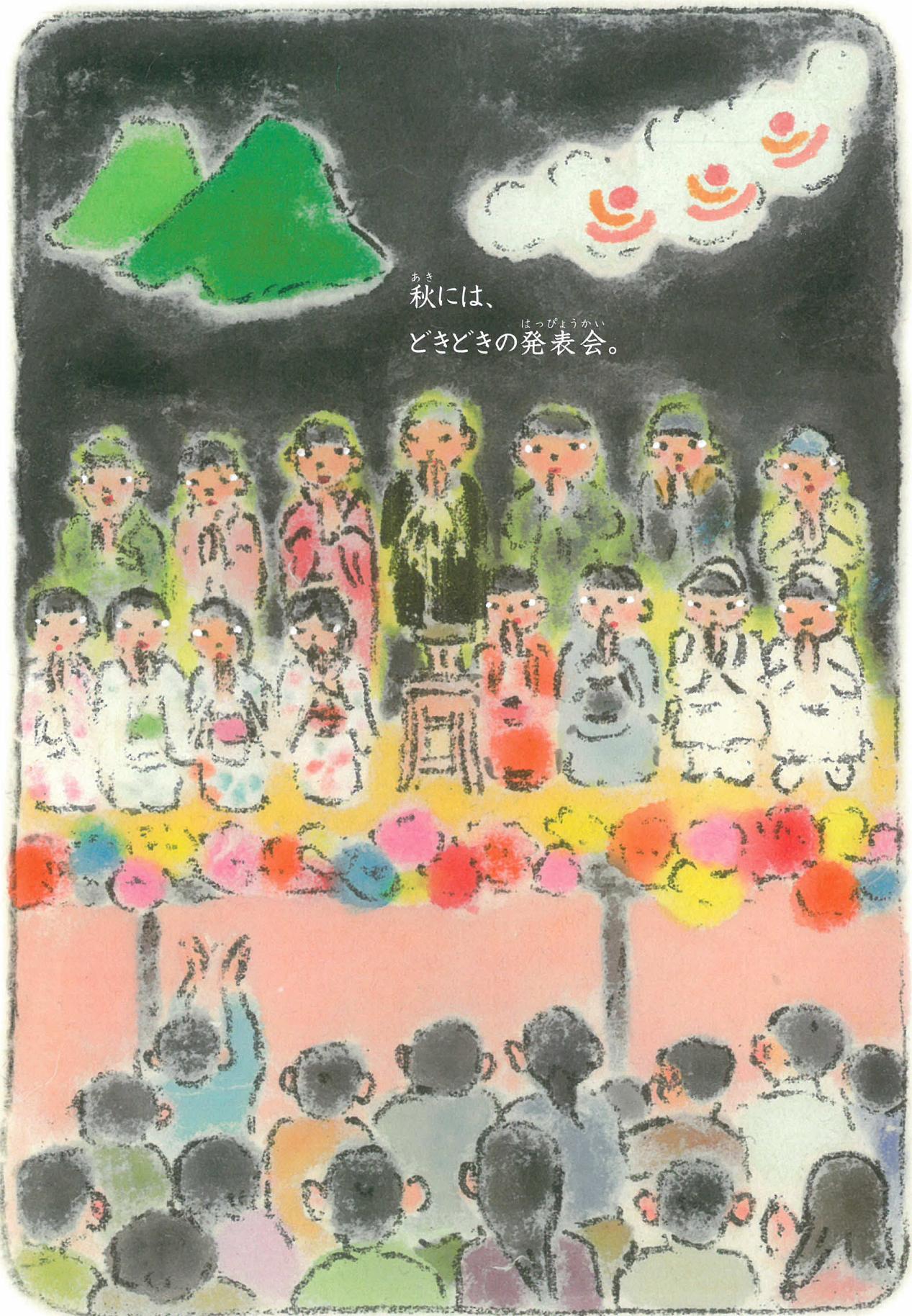
てんきのよい日は、
“のんの保育園”のみんなが
“のんの・みどり坂保育園”へ
ハイキング。

はる
春には、
ちからいっぱい運動会。



夏には、
たのしい
ぼんおどり大会。







園の歌

もりのことりが ぴっぴとよんだ
みんなのおうたに あわせるように
きいています のんのさま

にわのおはなが ふんわりひらいた
みんなのえがおに あいたくて
みています のんのさま

みどりのかぜが こっそりみている
おひるねみんなの ほっぺをなでて
しつっています のんのさま

ゆうやけぐもが いっしょにかえろう
おひさまわらって またあしたね
まもっています のんのさま

作詞・作曲 智谷裕子

発見を積み重ねる

とおくにあるものは なにかな?
ちかくにあるものは なにかな?

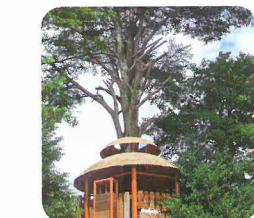
かおにみえるものを みつけよう!
どうぶつにみえるものを みつけよう!



においのするものを みつけよう!
おとがきこえるものを みつけよう!
そのおとを まねてみよう!



あかるいところを みつけよう!
くらいところを みつけよう!
あたたかいところを みつけよう!
すずしいところを みつけよう!
おきにいりのばしょを みつけよう!



おきにいりのきを みつけよう!
そのきを さわってみよう!
そのかたちを おしえてあげよう!
そのきに なってみよう!



まえにきたときと おなじものを みつけよう!
まえにきたときと ちがっているものを みつけよう!

こんないろのものを みつけよう!





社会福祉法人 和福祉会

のんの保育園

社会福祉法人 和福祉会

のんの・みどり坂保育園